

グローバル・ハウス シンボルマーク

■「自然の叡智」の結晶である地球の姿を表すブルーの球体

二つの球体のうち外側のブルーの球は、「自然の叡智」の結晶である地球の姿そのものであり、その調和の取れた美しさを先進感や未来感を意識したグラデーションの中に表現しています。これは、未来においても美しい調和を失わない地球の姿を象徴するものです。

この球体を、「グローバル・ハウス」のシンボルマークとするためグローバル〔GLOBAL〕の頭文字 G の型にくりぬきました。

■想像力、生命の力を象徴するオレンジの球体

くりぬいた青い球体の中心にあるオレンジ色の球は、外に向かう力を意味します。人間が手にした想像力、広がり続ける未来と宇宙、生命の力強さ、これからも歩みを止めることのないこの星の営みを象徴しています。

「グローバル・ハウス」のシンボルとして、地球、生命、科学技術、未来といった要素をすべて融合したシンボルマークです。



GLOBAL HOUSE

デザイナー・プロフィール

隈部 浩（クマベ ヒロシ）：アート・ディレクター

1975年東京生まれ。1999年日本大学芸術学部卒業後、電通テックに勤務。



GLOBAL HOUSE

パビリオンの構成

■ 3つの施設

「グローバル・ハウス」はブルー ホール、オレンジ ホール、マンモス ラボの3館で構成されます。

■ 各館の特徴

— オレンジ ホール —

一画面あたりの情報量がハイビジョンの16倍という世界初の超高精細映像システム、スーパーハイビジョンと、22.2チャンネルの立体音響で、生命の美しさ、多彩さを精密に描き出す最新のシアターを備え、「自然の叡智」と「人類の想像力」の関わりを解き明かそうとする最先端プロジェクトの研究紹介や、世界中から集められた貴重な資料の展示を行います。

— ブルー ホール —

世界最大規模の50m×10m、2005インチの巨大スクリーンに映し出されるレーザー・プロジェクション・システムによる大迫力の映像を通じて、現在の地球と私たちの姿を浮き彫りにします。

— マンモス ラボ —

ロシア連邦サハ共和国の永久凍土の中から発掘されたユカギルマンモスを冷凍状態で展示。また発掘の記録や、ユカギルマンモスに関する各種研究、計測データからマンモス絶滅の謎に迫る最前線の研究をご紹介します。

■ 2つの経路

「オレンジ ホール→マンモス ラボ」コース 「ブルー ホール→マンモス ラボ」コース

来場者の皆様に2種類の体験をご用意しています。オレンジ ホールからご入場いただいても、ブルー ホールからご入場いただいても、愛・地球博の目玉ともいえるマンモスの冷凍標本をご覧いただくことが出来ます。

■ 施設の再利用について

愛・地球博は、環境保全や、未来の資源循環型社会を描くという観点から、これまで愛知県民の皆様に親しまれ、愛されてきた愛知県立青少年公園を会場として利用しています。「グローバル・ハウス」のブルー ホール、オレンジ ホールも公園内にあったアイススケート場と温水プールを展示スペースとして利用しています。